



■プログラム導入のきっかけ

教員間で3D教育プログラムの導入の話が聞き、どういったものなのかと興味を持ったのがKA教育を知った初めのきっかけでした。

興味を持ったのは、教員の意識改革において効果が見込めるのではないかとという点です。その頃は学校として停滞感のある状況を打開するにはどうしたらいいのかということを探していた時でもあり、生活指導、教科指導などがどうあるべきかということを探していたタイミングだったんです。

■3D教育プログラムに何を期待しましたか？

こういったグループ学習を実施す

■導入による効果は？

初めは1年生（現在の3年生）からスタートし、順次2年生、3年生と導入し、06年度から3学年全体として実施しています。

具体的な効果について、目に見えての部分、実感できるレベルで変わってきたかどうかは今後の課題ですが、4月と9月に行われる年2回のエゴグラム診断では数値として効果が見えてきた部分もあります。

1年生の入学時のエゴグラム診断結果ではハイエゴ（心のエネルギーが高い）がC P 9・6%、N P 49・7%、A 12・4%、F C



インタビュー
進学指導主任 嶋田克彦 先生

生徒の感情変化を読み取る材料として
積極的にアプローチしていきたい

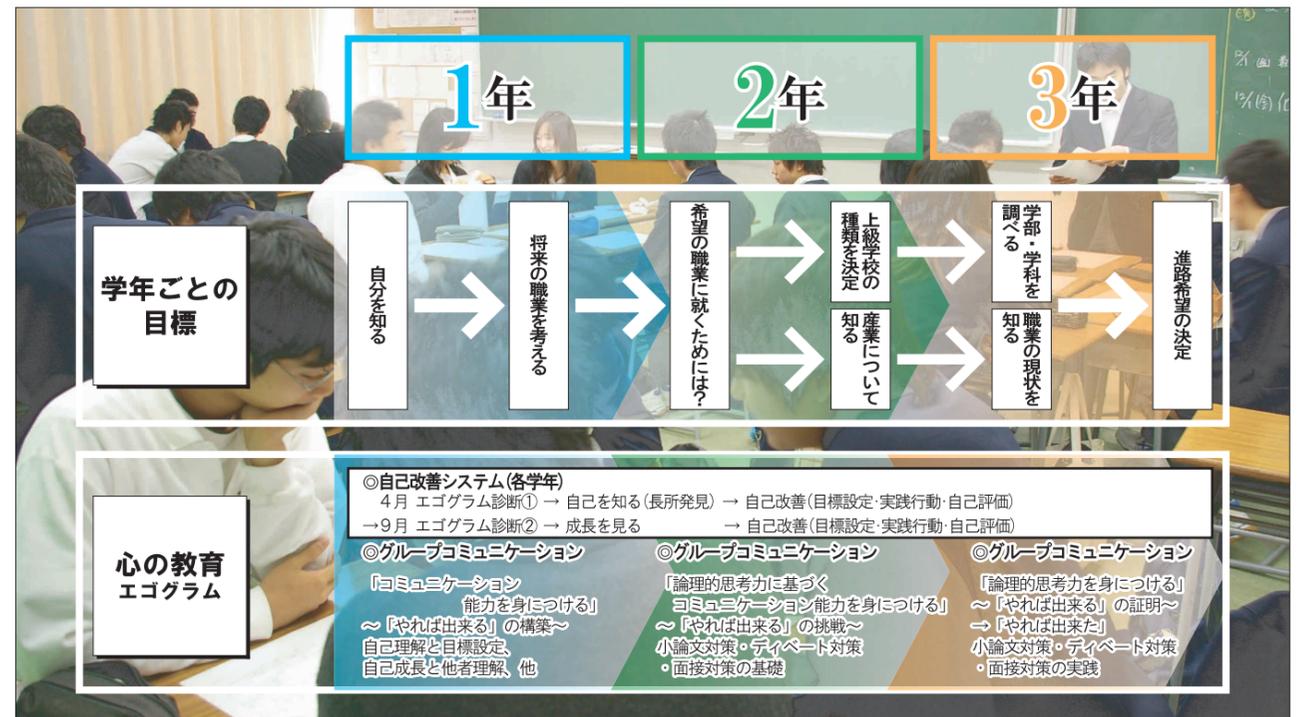
AO入試の合格率にどう影響しているかに期待しています。

■今後の取り組みにおける課題

学校行事など多忙な時期に最後までプログラムを実施しきれないケースがあったので、カリキュラムの組み方、時間の使い方が今後の課題といえるでしょう。また、人的な問題もあります。グループ学習がどのように行われているかを全体として管理・確認していく機関がありません。私自身も担任を持っていますので、授業の時間はクラスに入っています。クラスが個々に進めていくからこそ、その進み具合や課題などを全体として共有し、触発し合える体制づくりが今後必要になってくると思います。

■最後に一言

まだエゴグラム、グループ学習が教育効果にどういう形で具体的に結びついているか見極めている段階ですが、生徒のプラスアルファを引き出す要素であることは間違いないと思います。また、教員が生徒に関わっていく一つの切り口でもあると思います。生徒一人ひとりを見ていく時に、感情的に気持ちの部分で見られるのではなく、客観的な情報が見られるのがこのプログラムのメリットだと思いますので、子どもたちの感



★『3D教育プログラム』でココが変わった！

- ・1年次と3年次のエゴグラムを比較するとハイエゴが格段に上がった
- ・教師が生徒に関わる一つの切り口ができた
- ・グループ学習で自分の意見をしっかり言えるようになった

情的変化を読み取る材料として、進路指導部としても積極的にアプローチしていきたいと思えます。そして、学校全体に広くアピールしながらより効果が出るよう上手に機能させていきたいと思えます。